

2025 年 4 月 24 日所長会見 所感

- 本日、私からは 3 点お話をさせていただきます。
- 1 点目は、4 月 10 日から実施している 6 号機原子炉系の健全性確認の状況についてです。
お手元の資料 1 をご覧ください。
- 資料の右下に①とある主蒸気隔離弁については、4 月 10 日に弁の全開・全閉の動作確認を行い、4 月 15 日には圧縮空気による圧力をかけて、漏えいが無いことを確認いたしました。
- その上の②とある主蒸気逃がし安全弁については、4 月 17 日に、中央制御室からの操作で、弁が開閉することを、18 台分全て確認いたしました。
- 今後、準備が整い次第、制御棒駆動機構の健全性確認を進めてまいります。
- 2 点目は、6 号機の安全対策工事の進捗状況についてです。
資料 2 をご覧ください。全体の工事進捗率は約 9 割となっております。資料下部にある高圧代替注水系について、実際の蒸気を使用した試験は残りますが、工事实施済となりました。
- 使用前事業者検査も約 9 割実施済みであり、燃料装荷とその後の健全性確認に向けて、引き続き一つひとつ丁寧に進めてまいります。

- 3点目は、新入社員の配属についてです。
- 4月から当発電所に、66名の活力溢れる積極的な新入社員が配属されました。新潟県の学校を卒業した社員は約半数にあたる31名で、そのうち、柏崎市・刈羽村の学校を卒業した社員は17名です。
- 現在、新入社員は机上での集合研修をしています。原子力発電の仕組みや、設備の概要等の基礎的な知識から、立地の経緯、発電所の現在の状況などについて学んでおり、集合研修後は、各部署で技能研修を行う予定です。
- 先日、新入社員へ講話をした際に、「仕事をするうえで心掛けていることは何か」といった質問をもらいました。
- 私からは、『福島第一原子力発電所事故の経験者、そして発電所長として、いかにして福島第一原子力発電所のような事故を起こさないかを考えた時、大事なのは、日頃から疑問を感じた時には、それを必ず解消することを肝に銘じている』と伝えました。
- また、そのためには、『目の前の設備に異常は無いか。仕事のやり方で疑問に感じる点が無いか。日頃から疑問の念をもって取組み、何かあれば周りに相談すること。そして、必要があれば徹底的に直すことを心掛けて欲しい』とも伝え、1人ひとりが真剣な眼差しで力強く頷いていました。
- また、「福島第一原子力発電所の当時の事故状況や心境についても知りたい」といった質問もありました。

- まず、『原子炉の状態が分からない状況において、指示を出してしまったことで、仲間の命を危険に晒してしまう可能性があったこと。また、放射性物質を大量に放出することとなり、地域の皆さまに大変なご迷惑をおかけしてしまったこと』など、当時の状況を話しました。
- そして、それを踏まえて『同じことを柏崎刈羽の地で起こさないことが私達の最大の使命であること、万が一の事故の際には、まずは自分の命を守ったうえで、全力で対応にあたること』の重要性を伝えました。
- 短い質疑の中では伝えきれない部分もあるため、今後、あらためて福島第一原子力発電所の事故など、これまで経験してきたこともしっかりと伝えていきたいと考えています。
- 地域を愛し愛される発電所を目指す仲間として、まずは学び、家族や友人、地域の皆さまに発電所の取組についてしっかりと説明出来るように育成してまいります。
- そして、新入社員がフレッシュな視点で私たちに新たな気付きを与えてくれることを期待しています。
- 本日、私からは以上です。